

2008年3月期 中間決算について

2007年11月14日
成田国際空港株式会社

1 航空取扱量について

区 分	中間期(4月1日～9月30日)				通期(4月1日～3月31日)			
	2006年度 実績 A	2007年度 実績 B	増 減		2006年度 実績 C	2007年度 見通し D	増 減	
			数 量	%			数 量	%
航空機発着回数(万回)	9.5	9.7	0.3	102.8	19.1	19.4	0.3	101.8
航空旅客数(万人)	1,779	1,799	21	101.2	3,534	3,548	15	100.4
航空貨物量(万ト)	111	109	1	98.9	222	220	2	99.3
給油量(万kl)	284	283	1	99.6	570	563	7	98.8

(1) 2007年度中間期の実績

- 航空機発着回数及び航空旅客数は前年同期比で増加(過去最高)
- 航空貨物量及び給油量は前年同期比で微減

(2) 2007年度通期の見通し

- 航空機発着回数及び航空旅客数は前期比で増加
- 航空貨物量及び給油量は前期比で微減

2 収益事業の展開について

「narita nakamise」の通期化及び「ナリタ5番街」の供用効果により

グループリテール3社の上期売上実績 約158億円(前年同期比215%)、通期では約310億円

(参考) 航空・非航空収入割合 53:47 (前年同期 58:42)

非航空収入が前年同期に対して5ポイントアップ

3 連結決算について

(単位:億円)

区 分	中間期(4月1日～9月30日)				通期(4月1日～3月31日)			
	2006年度 実績 A	2007年度 実績 B	増 減		2006年度 実績 C	2007年度 見通し D	増 減	
			金 額	%			金 額	%
営業収益	908	1,006	97	110.7	1,843	1,992	148	108.1
営業利益	180	203	22	112.5	333	300	33	89.8
経常利益	131	157	25	119.3	238	204	34	85.6
中間(当期)純利益	65	77	11	116.9	117	82	35	69.8

(連結の範囲) 連結子会社 21社、持分法適用関連会社 1社(前年度末と同数)

(1) 経営成績の概要

営業収益は1,006億円(前年同期比97億円の増)で、中間決算としては過去最高。営業利益は203億円(同22億円の増)、経常利益は157億円(同25億円の増)、中間純利益は77億円(同11億円の増)で増収増益

- 営業収益については、空港運営事業では、航空機の小型化・低騒音化により空港使用料収入及び給油施設使用料収入は減収となったものの、昨年冬ダイヤから国内線未利用枠の一部を国際線に振り替えたことに伴う増便やビジット・ジャパン・キャンペーンなどにより外国人旅客数が増えたことから、旅客サービス施設使用料収入が増加した。また、リテール事業では、昨年6月にオープンした第1旅客ターミナル南ウイングの「narita nakamise」などの売上の通期化及び本年4月の第2旅客ターミナルビル「ナリタ5番街」のオープンに伴う子会社の新規店舗の展開により物販収入が増加し、施設貸付事業では、航空会社のラウンジ増床等による土地建物等貸付料収入が増加した結果、前年同期比97億円の増収
- 営業利益は、南ウイング維持管理費用の通期化や子会社の新規店舗展開などによる人件費、物件費の増加に加え、税制改正に伴う減価償却費の増加があったものの、工事・修繕計画の見直しや委託費用のコスト削減を図ったことにより、前年同期比22億円の増益
- 中間純利益は、前期に計上した航空会社再配置に伴う移転補償費が減少したことなどにより、前年同期比11億円の増益

(2) 財政状態の概要

- 当中間期末の有利子長期債務残高は前期末より79億円減少し、5,529億円。平均金利は前期末より0.01ポイント上昇し1.68%
- 純資産合計は前期末より84億円増加し、2,167億円
- 自己資本比率は0.7ポイント上昇して21.1%

(3) キャッシュ・フローの状況

フリー・キャッシュ・フローは121億円(前年同期比408億円の増)

- 営業CFは、税金等調整前中間純利益の増加などにより329億円(前年同期比111億円の流入増)
- 投資CFは、固定資産の取得による支出の減少などにより207億円(前年同期比297億円の流出減)

(4) 通期の連結業績見通し

営業収益は1,992億円(前期比148億円の増)、営業利益は300億円(同33億円の減)、経常利益は204億円(同34億円の減)、当期純利益は82億円(同35億円の減)で増収減益

- 営業収益は、「narita nakamise」などの売上の通期化及び本年4月の「ナリタ5番街」オープンに伴う店舗展開により物販収入が増加(リテール事業)することなどにより増収
- 営業利益は、引き続き、工事・修繕計画の見直しや委託費用のコスト削減を図るものの、子会社の店舗展開に伴う人件費、物件費及び各種更新工事に伴う物件費(修繕費、除却費)等の営業費用が増加することにより減益
- 当期純利益は、誘導路の舗装改修等の工事に伴う固定資産除却損が増加することなどにより減益
2007年5月15日発表の業績予想から、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益を上方修正しております。

4 単体決算について

(単位:億円)

区 分	中間期(4月1日~9月30日)				通期(4月1日~3月31日)			
	2006年度 実績 A	2007年度 実績 B	増 減		2006年度 実績 C	2007年度 見 通 し D	増 減	
			金 額 B-A	% B/A×100			金 額 D-C	% D/C×100
営業収益	799	824	24	103.1	1,601	1,634	32	102.0
営業利益	168	181	12	107.7	306	269	37	87.7
経常利益	121	135	13	111.5	210	172	38	81.6
中間(当期)純利益	60	66	6	110.2	103	66	37	64.0